2011年5月23日

外務省 NGO 協議全体会資料：開発協力適正会議について

ODA 政策協議コーディネーター
田辺有輝

背景：

開発協力適正会議については、「ODA のあり方に関する検討」で設置が提案され、その内容や構成について、外務省と NGO の間で議論を行ってきた。特に 2011 年 3 月 10 日には ODA 政策協議会コーディネーター一同により、意見書『「開発協力適正会議」の設置および運営について』が外務省に提出され、同日の ODA 政策協議会で議論を行った。

3 月 10 日の協議会では、外務省側から NGO 提案は概ね受け入れられるとの意向が示されたものの、逐語議事録の作成、オブザーバー参加者の発言の有無等が検討課題として残された。

論点：

そこで、本全体会では、以下の点について外務省の見解を伺った上で、改めて議論させて頂きたい。

1. 適正会議の議事録は発言者記名・逐語方式とし、会議の終了後に外務省ウェブサイト等で公開するべきだと考えるが、いかがか。
2. 適正会議は、委員のみの発言に限定せず、オブザーバーの発言も認めるべきだと考えるが、いかがか。
3. 適正会議にかける ODA 案件や議題は、外務省側が準備した案件のみならず、委員からの提起された案件・議題についても議論するべきだと考えるが、いかがか。

以上